国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和３年８月４日
国　土　交　通　省
東　北　地　方　整　備　局

道路に関する新たな取り組みの現地実証実験（社会実験）の実施について

○ 国土交通省道路局では、社会的に影響を与える可能性のある道路施策の導入に先立って、地域住民等の参加のもと、場所や期間を限定して当該施策を試行・評価し、もって新たな施策の展開と円滑に事業を執行することを目的とする現地実証実験（社会実験）を、公募により平成１１年度から実施しています。

○ 令和３年度においても実験を実施する地域を公募し、東北地方整備局管内では、以下の実験が採択されましたので、お知らせします。

申請団体	実験の名称	実験の概要	公募タイプ
青森県青森市	豪雪地帯における冬季の円滑な道路交通確保に向けた実証実験	豪雪地帯における道路交通の確保、都市機能の確保を図るため、冬期の渋滞解消を目的に、AI や ICT などの新技術等を活用して、「渋滞原因の把握、解析」及び「渋滞原因の解消作業」の効率化・高度化に関する実証実験を行う。	現地実証実験タイプ（単年度）
宮城県仙台市	仙台駅東地区における賑わい・モビリティ・物流が共存する道路空間の社会実験	仙台駅東口から楽天スタジアム等へつながる宮城野通において、広幅員の道路空間をフル活用し、「賑わい・モビリティ・物流」の複数種類の交通モードが同時に混在したときの走行安全性（歩行者や多様なモビリティの輻輳等）や利便性向上支援策（キッチンカーや次世代モビリティが充電や Wi-Fi を共用できる共同ポートの設置等）を検証。	現地実証実験タイプ（複数年度）

○　社会実験については、以下のホームページをご覧ください。
http://www.mlit.go.jp/road/demopro/index.html

〈発表記者会：青森県政記者会、岩手県政記者クラブ、宮城県政記者会、秋田県政記者会、山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ、東北電力記者会、東北専門記者会〉

【問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局　TEL　０２２－２２５－２１７１（代表）
道路部　道路計画第二課　課長　大澤（おおさわ）　尚史（なおふみ）　（内線 4251）
課長補佐　長濱谷（ながはまや）　和典（かずのり）（内線 4252）